

算数科学習指導案

授業者： 授業協力者：

授業学級：2年2組（男子19名 女子19名 計38人） 会場2年2組教室

題材 「まとめて考えよう ～ふえたりへったり～」 全2時間中の第2時

(1) 学習のねらい

オペレータ（変量）に着目して、増えた数を順に足す方法と、まとめて足す方法の2つの方法で考え始め、それぞれの方法の良さに疑問を感じている子どもたちが、変量に着目しながら始めの数から減った数をまとめるとちょうど100になる問題の計算方法を考えることを通して、まとめて計算する良さに気づき、場合によってはまとめて計算する方法が有効であるということを理解することができる。

(2) 本時の学習材

リレー遊びで混乱するK児の言葉

- 子どもたちは前時に、「順に」と「まとめる」計算方法を知った。しかし、「まとめる」方法に難しさを感じる子どもたちや、良さを感じていない子どもたちが多くいた。そんな子どもたちは、前時の振り返りをする中で、「まとめる」計算の必要性に疑問を持つだろう。そこで本学習材を提示する。
- 本学習材は、リレー遊びを始めようとする一人、二人と新たな子どもが加わってくる状況に出会ったK児が言う、「結局何人で遊ぶのか分からなくなっちゃったよ」という言葉である。この言葉に出会った子どもたちは、変量に着目することで「まとめて」計算できる良さに気づき、はじめの数から減った数をまとめると100になる問題の場合「順に」計算するよりも「まとめて」計算するほうがやりやすいと理解することが期待できる。

(3) 学習の展開

過程	学習活動	予想される子どもの動き	時間	指導と評価
課題把握	1 前時を振り返る	<ul style="list-style-type: none"> ・順に足したほうが早かった。 ・まとめる方法は難しかったな。 ○なんでまとめる必要があるの。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;">学習課題</p> <p>なんでまとめて計算するんだろう。</p> </div>	5'	<ul style="list-style-type: none"> ・変量を順に足す方法とまとめて足す方法の2つがあったことを確認する。 ・どちらの方法が計算しやすかったか子どもたちに聞く。 <p style="text-align: center;">学習材</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;">リレー遊びで混乱するK児の言葉</p> </div>
	展開	<p style="text-align: center;">学習課題</p> <p style="text-align: center;">変量に着目してまとめて計算する良さに気づこう。</p>	30'	<ul style="list-style-type: none"> ・変量をまとめると100になる問題を提示 ○まとめたほうが計算しやすかったという子どもの発言やつぶやきを拾う。 ・変化量が3つある問題を提示する。 ○「順に」と「まとめる」両方の解き方を尊重する。
終末	3 本時の学習の振り返りをノートに書く。	<ul style="list-style-type: none"> ・順番に計算したほうがいい問題もあるかな。 ・まとめて計算したほうがいいこともあるね。 ○順に引けばいい時と、まとめて引けばいい時があるんだ。 	10'	<p style="text-align: center;">評価</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>場合によっては、まとめて計算したほうが有効だということを理解できたか、発言やつぶやき、ノートからとらえる。</p> </div>